



香材についての
最新情報



▲厳重に管理されている白檀の貯木場

インド 白檀オークション 現地報告

インド白檀の価格がここ数年間、高騰を続けています。その現状を調査する為、平成十八年二月二十五日にタミルナドゥ州セーラムで開かれた政府主催のオークションに弊社仕入先の担当者が訪問参加し、情報を得ましたので掲載させていただきます。

厳しいインド白檀の現状

一月二十三日、チェンナイ森林局副局長を訪問。氏の話によれば、今回のオークションでの白檀出展予定は二百トン余り。現在、白檀が著しく減少

して、この規模のオークションも近いうちに開催が危ぶまれているとのこと。白檀の植林は行われているものの、成木に育つまでには最低でも十五年以上を要し、まだまだ市場には出てこない。白檀の産地はカルナタカ州、アンドラプラデーシュ州、タミルナドゥ州、ケララ州があるが、現在オークションを実施しているのはここタミルナドゥ州のみであり、カルナタカなどの地域の業者もタミルナドゥのオークションで品物の調達をしているとの話でした。次に訪れた白檀輸出商社訪問でも同様の話が出て、やはり白檀の厳しい現状を実感しました。このような状況からオークションは、従来は三ヶ所の貯木場で多いとき六ヶ月あたり二千トンが取引されましたが、現在

では一カ所の貯木場でしか開かれず、数量も六ヶ月あたり二百トン程度の扱い。原料が著しく少なくなっているのがよくわかります。

オークションの地、セーラムへ

一月二十四日。一夜明けていよいよセーラムへ向けて出発。途中食事も含め片道八時間の道のりは、日本とは違い、走っても走っても山などが見当たらず変化のない道が続きます。ハイウェイといっても牛、ヤギなどが道端を堂々と歩き、道路も大雨などの時に傷ついたのかガタガタ。そんな道を運転手は飛ばして走ります。後ろに乗っている身としてはヒヤヒヤし通して、



◀世界第2位の営業距離を誇るインドの鉄道



四季彩々

色とりどりに咲き乱れる伊吹山のお花畑

お花を愛でながら、雄大な景色も楽しめます。

標高一二七七メートルの伊吹山は、滋賀県と岐阜県の県境に位置します。山頂からは、晴れた日には、眼下に琵琶湖、北に若狭湾、南に伊勢湾を望むことができ、日本百名山の一つにも数えられています。とりわけ、七月下旬から八月月上旬、伊吹山頂上付近はシモツケソウを始め、イブキフウロ、イブキレイジンソウ、ルリトラノオ、コオニユリなど様々な花が咲き乱れ、素晴らしいお花畑が出現します。伊吹山は近畿からも中部からも近いこともあって、夏休みに多くのハイカーがこのお花畑を訪

れます。日本海側気候と太平洋側気候が入り混じる伊吹山には、この気候により育まれた約千種類もの植物が確認されています。また、伊吹山だけに自生する植物も多く、二〇〇二年にはその貴重な植物分布が認められ、国の天然記念物に指定されました。お花畑には登山口から登ることも可能ですが、伊吹山のドライブウェイの終点(九合目)に駐車場があり、ここから始まる遊歩道で頂上を目指すのが一般的です。ルートとしては、よく整備された西遊歩道を登り、東遊歩道を下る(約一時間半)コースが比較的歩きやすく、また、色とりどりに咲き揃うお花畑を堪能できるお勧めのコースです。



- 花期 7月下旬～8月上旬
- アクセス 名神高速道路関ヶ原ICから伊吹山ドライブウェイ経由約20km JR関ヶ原駅より名阪近鉄バス50分終点下車
- 連絡先 伊吹町役場 企画観光課 0749-58-1121